

10月6日 ● 第5回『コロナ禍の家計管理』



「新型コロナウイルスがもたらす社会変化と家計の対応」

講師：家計の見直し相談センター 代表 藤川太氏

コロナと共に生活しなくてはならない時代の家計管理について、お金の管理だけではなく、日々の暮らし方から見直していくことが大切と教えていただきました。



10月13日 ● 第6回『生前整理のすすめ』



「心も暮らしも変わる終活 大切な人に繋がる整理とは？」

講師：青木行政書士事務所 代表 青木克博氏

これから自分が生活していく上での様々な心配事をどのように整理整頓していくと良いのか、豊かな老後を迎えるため、家族のためにもなる生前整理についての理解を深めました。



10月20日 ● 第7回『悪質商法と消費者行動』 「より巧妙で悪質！騙しの手口 マインドコントロールされるワケ」



講師：消費生活専門相談員 中嶋恵美氏

消費者トラブルの現状やその手口、思考・感情・行動の全てが操られるマインドコントロールのしくみを教えていただきました。「トラブルから身を守るには、普段から知識を身につけ、自分だけは大丈夫と思わずに対策すること。」と注意喚起されました。



↑講師からの問題に答えながら、今日学んだことを復習しました！

私たちの暮らしの現状を学び、これからの消費者市民社会を担う私たちはどんな力をつけたらよいのか、これから何ができるのかについて、残り3回(第8・9・10回)の講義も継続して学びます！

☆ 講義終了後に、地域で活動されている県内の消費者団体との交流会も開催しました♡



☆福井市くらしの会 会長 田村洋子氏

持続可能な社会や安全・安心な暮らしのための取り組みを実践されています。「豊かに安心して暮らしていける環境づくりのためにしっかりと勉強してください。」と励ましの言葉をいただきました。

☆敦賀市消費者連絡協議会 副会長 増田正樹氏



消費者の知識と立場を向上させることを目的として活動されています。「知識や意欲を高め、消費者の立場を向上させる活動に関心を持ってください。」と呼びかけられました。

☆鯖江市くらしをよくする会 会長 水野豊美子氏



フードドライブ活動や消費者被害未然防止の寸劇の動画作成など、コロナ禍でも歩みを止めず、地域のためにできることを実践されています。

消費者団体との交流会



☆越前市消費者グループ連絡協議会 会長 野村幸子氏



同団体は、会員が活動しやすいように、4グループに分かれて、調査研究・悪質商法被害防止の出前講座など、地域とのかかわりを大切にしながら、子ども達や周囲の人たちに広める活動をされています。

☆勝山市消費者団体連絡協議会 会長 山場真理子氏



「もったいない」を合言葉に、いらなくなったものを譲り合う活動「蚤の市」を開催されています。また、地元の学生が考えた「エコかるた」の作成及び実施など、消費者の立場を向上させることを目的として、かしこく、わかりやすく、たのしさをモットーに活動されています。